

「ふくしま赤しゃも」の適正飼養密度

福島県養鶏試験場 経営部
平成10年度福島県養鶏試験場試験成績概要
集
分類コード 07-04-49000000
部門名 畜産一鶏一飼養管理

I 新技術の解説

1 要 旨

平成10年度内に制定が予定されている特定JAS制度では、地鶏肉生産の飼養基準が定められる。しかし、経済性重視型高品質肉鶏であるふくしま赤しゃもは、増体、飼料要求率等の生産性を重視した場合、40羽／3.3㎡の密度でも飼養可能である。夏期については、密度を低くした方が増体が良くなる。

(1) 育成率

ふくしま赤しゃもは夏期、冬期ともに飼養密度を高めても(50羽／3.3㎡)高い育成率となる。(2)増体・飼料要求率

高品質肉鶏は増体を生産性の指標とすることが多い。その場合、雄雌ともに高密度(50羽／3.3㎡)で飼養した場合は増体が悪くなるので、30～40羽／3.3㎡の密度で飼養する。夏期は密度を低くした方が増体が良くなる傾向にある。飼料要求率は密度を高めると良くなる傾向にある。

(3) 裸背・キズ物発生率

夏期は雌に、冬期は雄に裸背の発生が多見られるが、商品価値に影響を与えるキズ物については飼養密度との関係が見られない。

2 期待される効果

高品質肉鶏の生産性向上

3 適用範囲

ふくしま赤しゃもを生産する農家及び団体

4 普及上の留意点

飼養密度については、特定JASにより地鶏としての認定を受ける場合は、飼養密度を33羽／3.3㎡以下とする。

II 具体的データ等

表-1 冬期：育成成績・0～4週齢

性(羽数)	育成率(%)	増体量(g)	飼料摂取量(g)
雄(737羽)	96.6	564.0	1,211
雌(786羽)	98.7	481.0	1,166

増体量・飼料摂取量：1羽当たり

表-2 夏期：育成成績・0～4週齢

性(羽数)	育成率(%)	増体量(g)	飼料摂取量(g)
雄(595羽)	99.2	453.3	1,120
雌(593羽)	99.2	403.7	1,120

増体量・飼料摂取量：1羽当たり

表-3 冬期：育成成績・4～13週齢

区	育成率(%)	13週齢時 体重(g)	期間飼料 要求率
1(30羽)	100	2,863	3.30
雄 2(40羽)	100	2,955	3.18
3(50羽)	99.5	2,812	3.18
雌 4(30羽)	99.2	2,284	3.37
5(40羽)	100	2,200	3.18
6(50羽)	100	2,185	3.10

体重：1羽当たり

表-4 夏期：育成成績・4～13週齢

区		育成率 (%)	13週齢時 体重(g)	期間飼料 要求率
雄	1 (30羽)	99.2	2,636	2.72
	2 (40羽)	98.8	2,585	2.77
	3 (50羽)	99.5	2,597	2.62
雌	4 (30羽)	100	1,971	3.25
	5 (40羽)	100	1,962	3.02
	6 (50羽)	100	1,927	2.91

体重：1羽当たり

表-5 冬期：裸背及びキズ物発生率(11週齢)

区		裸背(%)	キズ物(%)
雄	1 (30羽)	8.3	0
	2 (40羽)	9.4	0
	3 (50羽)	9.0	0
雌	4 (30羽)	1.7	0
	5 (40羽)	0	0
	6 (50羽)	1.0	0

表-6 夏期：裸背及びキズ物発生率(11週齢)

区		裸背(%)	キズ物(%)
雄	1 (30羽)	0	0
	2 (40羽)	0	0
	3 (50羽)	0	0
雌	4 (30羽)	1.7	0
	5 (40羽)	1.3	0
	6 (50羽)	1.5	0

Ⅲその他

1 主要な参考文献・資料：平成10年度養鶏試験場試験成績概要